

第2回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会

- 1 日時 平成29年10月11日（水）午前10時～午前11時15分
- 2 場所 つくばみらい市役所 教育委員会庁舎2階 第2・3会議室
- 3 出席委員
委員長 中島 正志
副委員長 直井 光一
委員 高木 寛房
委員 久下 伸子
委員 布袋田 葵
委員 深作 志乃
委員 石川 彰己
委員 町田 幸子
委員 斉藤 一
委員 井波 進
委員 張谷 昌彦
- 4 欠席委員 委員 光岡 恵子
- 5 出席職員
教育長 福田 敏男
学校教育課 課長 飯泉 勝宏
課長補佐 天神 信光
係長 坂本 和生
係長 長岡 秋訓
- 6 コンサルタント 株式会社都市環境計画研究所
- 7 傍聴人 0名
- 8 議事 (1) 今後の就学前児童数及び幼児教育対象者数の推計
(2) 再整備のための手法のパターン別整理と、整備内容の検討

第2回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会 議事録

- 事務局 1. 開会
- それでは、定刻となりましたので、第2回、つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会を開催いたします。
- はじめに、委員長あいさつ中島委員長お願いいたします。
- 委員長 2. 委員長あいさつ
- 本日は、お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。本日の委員会におきましては、再整備手法等についてご検討していただきます。事務局から事前に配布されております資料を見ますと、多様な手法の案が提示されております。委員の皆様からすべての手法についてご意見をいただきたいと考えておりますので、委員の皆様よろしく申し上げます。
- 簡単ですがあいさつといたします。
- 事務局 3. 議事
- それでは、議事に入らせていただきますが、この会議は、つくばみらい市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、傍聴が可能であり公開となります。また、議事内容は議事録にまとめ、市ホームページ上にて公開させていただきますのでご理解願います。それでは、委員会が円滑に進むよう、ご協力をお願いします。
- 議事進行につきましては、議長は要綱第6条第1項により委員長がつとめることとされております。中島委員長にこの後の議事進行をお願いいたします。
- 委員長 それでは、要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますのでよろしく申し上げます。早速、次第に従いまして、会議を進めてまいります。
- 議題の
- (1) 今後の就学前児童数及び幼児教育対象者数の推計
 - (2) 再整備のための手法のパターン別整理と、整備内容の検討
- を一括して、事務局から説明を求めます。
- 事務局 それでは、資料1をご覧ください。
- 説明省略 —
- 委員長 それでは、委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

- 委員 2020年の施設利用者の推計ですが、どのように算出されたのですか。
また、市の財政状況から考えて、予算はいくらまでなら良いのか。
- 事務局 国のさまざまな計画の中の人口推計に用いられるコーホート法という推計方法で、5歳階級男女別の人口を用いて、転入転出の移動の状況や生存率、子どもの男女別の出生割合等の状況を踏まえて算出しております。
- 委員長 予算に関しては、財政課長であります張谷委員より説明をお願いします。
- 委員 来年度の予算編成は、今年度よりも12億減になる予定でありますので、予算については非常に厳しい状況です。
- 委員 パターン4・8・10については、小学校の跡地利用となっておりますが、具体的にどこの小学校を想定していますか。また、パターン8と10で事業費の差が1千万円違いますがなぜですか。
- 事務局 東小学校・三島小学校・豊小学校の3校になります。適正配置基本計画において統廃合が予定されている年は、東小学校が平成31年、三島・豊小学校が平成32年となっております。
事業費の差につきましては、パターン10は、2園集約になりますので、教室等の増を見込んでおります。
- 委員 いろんなパターンがありますが、最短でも1年以上先の話になっております。今まさに耐震補強が必要と診断されているので、それまでの安全確保はどうするのですか。
- 事務局 災害が起きた場合は、各幼稚園の中で安全確保の対応をして頂いております。建物については、まずは耐震補強が必要になりますが、耐震補強した後のことも含めて検討していくために、どの手法で行うことが良いことなのか問題となっております。
- 委員 園の先生方が連携して、避難場所や災害時の対応を決めていただいておりますが、建物自体が倒壊した場合のことを考えると不安です。
- 委員長 できるだけ早く実現してほしいということですね。
- 委員 現在の建物での耐震補強は可能なのでしょうか。

- 事務局 耐震診断をわかき幼稚園は平成22年度、すみれ幼稚園は平成21年度実施しており、2園とも耐震基準を満たしていませんが、耐震補強工事は可能と結果が出ております。しかし、すでに耐用年数が過ぎている建物に対し耐震補強したとしてあと何年大丈夫なのかという疑問等があります。
- 委員 耐震補強工事をしつつ、後に新築工事をするということは可能ですか。
- 事務局 耐震補強をした場合は、その後すぐに他の工事を実施することはなかなか難しいと思います。
- 委員 コスト面での比較も必要ですが、速やかに施工できるパターンはこの中にありますか。
- 事務局 例えば耐震補強であっても、現地調査し設計しますので、それだけでも約1年かかります。来年度から着手したとしても、来年度設計し再来年度の夏休みに工事となりますので、早くても1年半はかかります。なので、どのパターンにおいても時間がかかります。
- 委員長 保護者の方の思いとしては、当面の危険をどのように回避するのか、ということだと思います。各幼稚園、教育委員会が連携して災害対策のマニュアル、手法について十分に検討いただきたいと思います。
- 委員 時間がかかるのであれば、例えば建物の一部のみを先行して補強工事をすることは可能ですか。
- 事務局 建物の一部の補強が可能なのかは現在わかりかねますので、確認し次回の回答といたします。
- 委員 耐震補強と大規模改修で工期が約7～8ヶ月かかるとなると、園児がいるなかでの工事になるのであれば安全面からして幼稚園としては厳しい。また、小学校の跡地利用となると実際廃校となる時期が未定なので、時間がかかりすぎるため難しい。さらに、耐震診断を平成21・22年に実施しているにもかかわらず、なぜ今まで何もしてこなかったのが疑問である。手法の中には2園を集約するか小学校の跡地を利用するとかがありますが、まずは、園児の命を守るため、耐震補強を速やかに実施し、2園を1園に集約するか小学校の跡地を利用する等は、その後で良いのではないかと。
- 事務局 お示した各種パターンについてできないわけではありませんが、耐震補強をした後に、次の段階となるパターン9にあります2園の集約による1園の新築等の実施は現

段階でお約束できません。

委員 今後、園児数が減るということや幼稚園に通うエリア等について、また、2園を1園に集約するという手法がありますが、幼稚園の適正配置と建物の耐震補強を別に考えていくわけにはいきませんか。

事務局 幼稚園の適正配置は、この委員会では決めません。あくまでも建物をどうするかを検討していただきたいと思います。

副委員長 実際施設を利用している立場からすれば、使い勝手が悪すぎます。耐震補強は必要で、すぐにでも耐震補強をしなければならないのはわかりますが、耐震補強をしたらその後の改築等はいつになるかわからないのであれば、改築や大規模改修等にしていただき子供達を使いやすくしてほしいと思います。また、いつまでにやるのかを明確にしてほしい。

事務局 この委員会で議論したこと、また、市の財政状況を踏まえ決定していきたいと考えております。

委員 今、幼稚園に通っている子供達の命を守るため、最低限のことだけはやっていかなければならない。また、その先にどうするかも考えていくことが委員として科せられた使命ではないかと思います。財政難かもしれませんが一番大切なことは何なのかを忘れてはいけません。

現在提示されている各種パターンすべてに問題点があります。例えば、小学校の跡地利用をした場合、建物の耐用年数はどのくらいあるのでしょうか。

事務局 想定している小学校の大規模改修は完了しておりますが、大規模改修後の建物の耐用年数については、現在わかりかねますので、次回の回答とさせていただきます。

委員 財政課としては、やはり子供達の安心安全を第一に考えて頂き、また、なるべく予算がかからない手法でお願いしたいと考えております。

委員 当初のスケジュールで保護者へのアンケートは、9月下旬に実施するとなっておりますが、いつ頃実施するのでしょうか。

事務局 委員会の中で1つのパターンに絞ったアンケートではなく、いくつかのパターンを中心にアンケートを作成したいと考えております。また、実際アンケート実施は遅れてお

りますが、今後実施いたします。

委員 すぐに耐震補強や改築工事ができないのであれば、違う施設を利用することはできないのか。例えば、コミセン等の公共施設ですが。そういう施設はありますか。

事務局 文科省で、園児1人当たりの面積が決まっておりますので、それを確保できる施設は今のところありません。

委員長 近隣市町村でも同様の問題があると思いますので、どういうふうに解決したかという事例の調査も必要かと思います。今後事務局で調査して、委員会で報告していただきたいと思います。

事務局 検討いたします。

委員 耐震補強をした場合、耐用年数があるのか調べていただきたい。また、小学校の空き教室をうまく利用することは可能ですか。

事務局 例えば、わかくさ幼稚園ですが、わかくさ幼稚園のクラス数分の空き教室がありません。ひとつの学校全体を利用する場合はなんとか教室数を確保できるかもしれませんが、小学校と併用してとなると難しいですが、お隣の取手市では、一階を幼稚園、2・3階を小学校としているところも実際ありますので、そういったところの現地視察や状況等を調査してまいります。

委員長 それでは、そろそろ本日のまとめをしたいと思いますが、本日は、実質1回目の審議であり、様々なご意見がでております。また、これから調査してもらうこともでております。まだ、どのパターンが良いか絞り込まず、あと1・2度協議し、そして、アンケートの結果などを踏まえた上で決めていきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

委員 — 全員承認 —

委員長 それでは、本日の審議は以上としますが、事務局においては、今回委員の皆様からのご意見の内容について、更なる調査をお願いしたいと思います。

事務局 4. 閉会

中島委員長ありがとうございました。また、委員の皆様方には長時間にわたり貴重な

ご意見・ご審議ありがとうございました。以上をもちまして第2回つくばみらい市立
わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会を閉会といたします。

< 終 了 >